

**文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム**  
**令和3(2021)年度「職域・地域架橋型-価値に基づく支援者育成」**  
**職域架橋型コース(C-1)・地域連携型コース(C-2) 募集要項**

1. プログラムの目的及び内容

患者の価値にもとづき、医療における多職種協働や医療と地域をつなぐ支援のできる人材を育成する。

Co-production (当事者と回復を共同創造できること)、

Trauma-informed care (トラウマが存在する可能性を熟知して支援にあたること)、

Organizational change (これらの理念を实践できるように組織を変革すること)、

をコアとなる素養と位置づけ、これらを身につけるよう、実践的な学習を深める。

上記の三つの素養の獲得を通じて、患者の価値にもとづく支援 (value-informed service) を行う能力が身につく。また所定の時間 (年間 120 時間の講義受講及び実習) を修了した際に授与される履修証明により、患者の価値にもとづき、医療における多職種協働や医療と地域をつなぐ支援のできる高度な医療人材であることを客観的に明らかにすることができる。

職域架橋型コースは、心理系職員等の総合病院等の医療のなかで多職種協働ができる、あるいは医療と協働できる人材の育成をめざす。

地域連携型コースは、行政職員や PSW 等の医療と地域 (教育、保健、福祉、行政) の連携をコーディネートできる人材の育成をめざす。

2. 応募資格

(1) (2) 双方を満たす方

(1) 4 年制大学卒業者、または大学卒業者と同等以上の学力を有すると認められた 22 歳以上の方

(2) 医療、学校、行政 (保健・福祉) などの領域で対人支援職を目指す方。または既に対人支援に従事しており、さらに高度な知識・技術を身につけようとする方

3. 募集人員

職域架橋型コース (C-1) 20 名

(医療をはじめとする様々な領域で心理支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が対象。看護、精神保健福祉、作業療法、薬剤、栄養、学校教育など多様な職域の社会人で、個人の心理・行動のアクセスメントにもとづく支援力向上を目指す方等も対象に含む。)

地域連携型コース (C-2) 20 名

(主に行政、社会福祉、学校教育、NPO 法人等で対人支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象。医療職等で地域との連携について学びたい方、心理職等個人の支援にあたる方で社会的支援の視座を深めたい方等も対象に含む。)

4. 受講期間

2021 年 4 月～2022 年 3 月

5. 開催場所

東京大学本郷キャンパス・医学部附属病院内会議室 (文京区本郷 7-3-1)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する東京大学の方針に従い

オンラインでの開催の可能性があります。(2020 年 4 月～11 月現在は、オンライン講義を行っております) 感染状況により東京大学の方針に従い、オンライン又は、学内や院内の会議室での開催となりますが、事態が終息し、全体としては会議室での開催ができるようになって、オンライン参加していただけるように準備してまいります。

## 6. 受講内容

### C-1 コース

精神医学・発達精神医学、心理検査、心理療法、研究法、精神分析の講義や演習（8時間×12日）と学内（6時間×2日）や学外（6時間×2日）連携施設における実習。

### C-2 コース

共同創造の時代のメンタルヘルス、精神保健サービスの構築と質の評価、地域保健の現場、地域連携といったテーマの講義や演習（8時間×12日）と、学内（6時間×2日）や学外（6時間×2日）連携施設における実習。

（詳細は別紙プログラム一覧参照）

※C-1とC-2は別々のコースとなっております。C-1, C-2の両方の申込みも可能です。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する東京大学の方針に従い  
実習に関しては変更の可能性がございます。

## 7. 出願書類

(1) 履歴書（※指定の様式で作成）

(2) エントリーシート（※指定の様式で作成）

(3) 志願理由書（A4 1枚）

(4) 応募資格（1）を証明する書類（卒業証書、在学証明書等）の写し等

応募資格（2）を証明する書類（免許等）の写し等。資格未取得等の場合には必須ではない。

（※写しの用紙サイズはA4でお願いします。）

(5) 結果通知用封筒（定形封筒（長形 3号）に 84円切手を貼り、出願者本人の住所・宛名を記入したもの。）

※指定の様式→ <https://co-production-training.net/application/>

## 8. 出願先

〒113-8655

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 CRC A 棟 1F 精神神経科 TICPOC 事務局

## 9. 出願期間

令和2年（2020年）12月4日～令和2年（2020年）12月24日（必着）（随時1次選考・2次選考を実施）

1次選考：履歴書、志願理由書等の書類審査により選考する。

2次選考：面接により選考する。（オンラインの面接の可能性があります。）

## 11. 選考発表及び受講手続き

令和3年（2021年）1月31日。選考の結果を同日までに郵送又は電子メールにて通知する。

受講を認められた方には関係書類を送付する。

## 12. 受講料

各コース1年間 9万円（学生は5万円）

※他コースの受講者が本コースの講義を単回受講する場合は、1.5万円/日（学生は0.8万円/日）の受講料となる。

※両コース併願の場合の受講料金額割引について検討中。

## 13. 問い合わせ先

〒113-8655

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 CRC A 棟 1F 精神神経科 TICPOC 事務局

TEL：03-3815-5411（内線：36052）

E-mail：utokyo.coproduction.training@gmail.com

URL：http://co-production-training.net/

## 14. その他

採用者決定後、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。応募書類は本応募の用途に限り使用し、こちらで責任をもって廃棄させていただきます。

## 2021 年度 プログラム一覧

## C-1 職域架橋連携コース 講義一覧

		テーマ内容	予定講師
6/12 (土)	午前	TICPOC C-1 コースの趣旨と概要	TICPOC 事務局 笠井清登 濱田純子
	午後	心理臨床実践と研究の倫理	日本大学文理学部心理学科 津川律子 教授
6/13 (日)	午前	総合病院精神医学と多職種協働	東京大学医学部附属病院 近藤伸介 特任講師 市橋香代 特任講師
	午後	精神疾患と薬理	東京大学医学部附属病院 森田健太郎 助教 里村嘉弘 講師 神出誠一郎 准教授
8/28 (土)	午前	認知行動療法	上智大学総合人間科学部心理学科 毛利伊吹 准教授
	午後	力動的視点を非精神分析的ケア場面に適用する	神戸女学院大学人間科学部心理・行動科学科 若佐美奈子 准教授
8/29 (日)	午前	スキーマ療法	洗足ストレスコーピング・サポートオフィス 伊藤絵美 所長
	午後	チーム支援を有効にする精神力動的視点	京都大学 松木邦裕 名誉教授
9/11 (土)	午前	多職種協働における価値と多元主義	京都大学大学院医学系研究科 村井俊哉 教授 東京大学医学部附属病院 榊原英輔 助教
	午後	臨床心理学の社会論的転回	十文字学園女子大学人間生活学部 人間発達心理学科 東畑開人 准教授
9/12 (日)	午前	家族が望む精神科医療と地域社会	あおば福祉会 島本禎子 理事長
	午後	22q11.2 欠失症候群－重複する障害を抱えた子どもとその家族の生活－	22 HEART CLUB 三ツ井幸子 副代表

11/20 (土)	午前	発達障害の臨床	東京大学大学院医学系研究科 金生由紀子 准教授
	午後	発達障害のアセスメント －WISC-IV, WAIS-IVから ADOS-2, ADI-R まで－	帝京大学文学部心理学科 黒田美保 教授
11/21 (日)	午前	見えない心を可視化する －心理アセスメントによるケース理解－	中村心理療法研究室 国際ロールシャッハ 学会会長 中村紀子
	午後	精神分析を生きる、そして生かす	上智大学総合人間科学部心理学科 藤山直樹 名誉教授
1/8(土)	午前	スクールカウンセリングとソーシャルワーク	東京大学医学部附属病院 笠井清登 教授 ゲスト講師
	午後	心理支援におけるコラージュ療法の理論と その実践	鹿児島大学大学院臨床心理学研究科 中原睦美 教授
1/9 (日)	午前	オンコロジー領域の心理社会支援	国立研究開発法人 国立がん研究センター 藤森麻衣子 室長
	午後	質的研究入門－ナラティブの重要性－	東京大学大学院教育学研究科 能智正博 教授
2/19 (土)	午前	精神分析的な心理療法における 「女性であること」とトラウマ	帝京大学心理臨床センター 笠井さつき 教授
	午後	薬物依存症をもつ人を地域で支える	国立精神・神経医療研究センター 松本俊彦 部長
2/20 (日)	午前	ヤングケアラー	成蹊大学文学部現代社会学科 澁谷智子 教授
	午後	当事者主権の福祉社会へ	認定 NPO 法人ウイメンズ アクションネットワーク 上野千鶴子 理事長

※講師、講義タイトル、内容等は変更となる可能性がございます。

※9月と2月はC-1・C-2 合同講義となります。

## C-2 地域連携コース 講義一覧

		テーマ内容	予定講師
5/22 (土)	午前	TICPOC C-2 コースの趣旨と概要	TICPOC 事務局 笠井清登 熊倉陽介
	午後	当事者研究の歴史と理念  ワークシートを使った当事者研究の体験  自他の身体に関する知識と社会変革： 当事者研究とソーシャルマジョリティ	東京大学先端科学技術研究センター 熊谷晋一郎 准教授 ダルク女性ハウス 上岡陽江 代表 東京大学先端科学技術研究センター 綾屋紗月 特任講師
5/23 (日)	午前	中動態の世界—意志と責任の考古学	東京大学総合文化研究科・教養学部 國分功一郎 准教授
	午後	トラウマインフォームドケア	兵庫県こころのケアセンター 亀岡智美 副センター長兼研究部長
7/3 (土)	午前	地域共生社会におけるメンタルヘルスの戦略	全国精神保健福祉連絡協議会会長・ 川崎市精神保健福祉センター所長 竹島正
	午後	地域と共に生きる寺院と「集いの場」	大正大学社会共生学部 高瀬頭功 専任講師
7/4 (日)	午前	精神保健の <b>Organizational Change</b> に向けた研究 の方法論	東京大学医学部附属病院 金原明子 特任助教 国立精神・神経医療研究センター 山口創生 室長
	午後	精神障害にも対応した地域包括ケアと 意思決定支援（権利擁護と共同意思決定）	国立精神・神経医療研究センター 藤井千代 部長
9/11 (土)	午前	多職種協働における価値と多元主義	京都大学大学院医学系研究科 村井俊哉 教授 東京大学医学部附属病院 榊原英輔 助教
	午後	臨床心理学の社会論的転回	十文字学園女子大学人間生活学部 人間発達心理学科 東畑開人 准教授
9/12 (日)	午前	家族が望む精神科医療と地域社会	あおば福祉会 島本禎子 理事長
	午後	22q11.2 欠失症候群—重複する障害を抱えた 子どもとその家族の生活	22 HEART CLUB 三ツ井幸子 副代表

10/2 (土)	午前	文京区の虐待対策と子ども家庭支援	文京区子ども家庭支援センター 職員
	午後	ピアサポートワーカーとコ・プロダクション	東京大学大学院医学系研究科 宮本有紀 准教授 東京大学医学部附属病院 佐々木理恵 学術支援専門職員
10/3 (日)	午前	プライマリ・ケアと精神科医療を統合した訪問診療	祐ホームクリニック 吾妻橋 夏堀龍暢 院長
	午後	学校メンタルヘルスと若者の自殺対策	NPO 法人 Light Ring. 石井綾華 代表理事
12/11(土)	午前	医療人類学の基本と最前線	慶應義塾大学文学部・大学院社会学研究科 北中淳子 教授
	午後	東日本大震災におけるメンタルヘルス	岩手医科大学神経精神科学講座 大塚耕太郎 教授
12/12(日)	午前	事故・事件の被害者支援	被害者支援都民センター 鶴田信子 心理相談担当責任者
	午後	対人支援サービスの質の評価とPDCA サイクル	東京大学総括プロジェクト機構 「Quality と Health を基盤におくサービスエクセレンス社会システム工学」 総括寄付講座 水流聡子 特任教授
2/19 (土)	午前	精神分析的心理療法における「女性であること」とトラウマ	帝京大学心理臨床センター 笠井さつき 教授
	午後	薬物依存症をもつ人を地域で支える	国立精神・神経医療研究センター 松本俊彦 部長
2/20 (日)	午前	ヤングケアラー	成蹊大学文学部現代社会学科 澁谷智子 教授
	午後	当事者主権の福祉社会へ	NPO 法人ウィメンズ アクションネットワーク 上野千鶴子 理事長

※講師、講義タイトル、内容等は変更となる可能性があります。

※9月と2月はC-1・C-2 合同講義となります。